

2020 年 5 月 10 日

### 学会事務局業務報告

学会事務局  
小田切 康彦

#### 1. 事務局業務の遅延について

この度の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う徳島大学の就業措置の影響により、4 月 7 日より、事務局長および事務局職員が在宅勤務となっている。そのため、学会事務局業務に遅延が生じている。また、会員業務を受託いただいている（一社）学会支援機構においても、同様の影響で業務に大きな遅延が生じている旨、連絡をいただいている（本資料 2 ページ参照）。

本件については、学会ホームページおよびメーリングリストにて会員向け通知を行ったところである（本資料 3 ページ参照）。

#### 2. 経理事務監査の遅延について

上記 1 の影響により、例年 4 月中に完了していた前年度の経理事務のまとめに大きな遅延が生じている。5 月 8 日に経理事務のまとめが完了し、これから監事の先生方に監査をお願いするスケジュールとなる。そのため、6 月 6 日開催予定の定時総会の議案となる「2019 年度決算報告案」の確定が 5 月中旬以降となる見通しである。2019 年度決算報告案については、5 月末に予定されている電子メール理事会にて、最終のご承認をいただきたく考えている（別紙：報告資料 1-2-1 参照）。

事務局業務の遅延について詫言申し上げるとともに、状況をみつつ業務の改善をはかっていく所存である。

以 上

2020 年 4 月 16 日

各 位

新型コロナウイルス感染拡大に対する当機構の対応について

一般社団法人 学会支援機構  
代表理事 村 上 聡

平素は大変お世話になり、誠にありがとうございます。

さて、去る 4 月 7 日、政府より 7 都府県を対象とした緊急事態宣言が発令され、それを受けて関係する自治体より緊急措置が公表されました。

当機構事務所は、対象となる東京都に所在しており、感染拡大の抑止と職員の安全確保の観点から、時差出勤、テレワークおよび出社制限等の対策を実施させていただいております。また、当機構協力会社でも同様の対策を実施しているケースが多くございます。

一方、学協会には社会的役割も大きく、その活動を休止するわけにはいかないものと存じております。当機構としても最大限、各学協会をサポートすべく引き続き業務を継続していく所存です。

しかしながら、上述の措置による稼働性の低下により、恐縮ですが一部業務に遅延が生ずる可能性がございます。

そのため、学協会の先生方および関係各位には、ご不便、ご迷惑をお掛けする場合もあるかと存じますが、事情ご賢察の上、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

当機構では、今後も、安全確保を最優先に対応内容を随時見直した上で、各学協会の事業がスムーズに行われるようサポートに努めてまいります。

一日も早い感染拡大の終息と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。



---

## 学会事務局業務の一部遅延について

---

会員各位

平素より、当学会の活動にご理解・ご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、この度の新型コロナウイルス感染症対策の影響により、現在、学会事務局での郵便物の確認、領収書の発行等の業務において遅延が生じております。

また、会員システムをはじめとする各種お問い合わせ等につきましても、ご回答までにお時間を頂戴しております。

皆様には大変ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解、ご了承の程、よろしくお願い申し上げます。

2020年4月14日

日本NPO学会事務局  
事務局長 小田切 康彦